

1. 安全上のご注意

- 製品を適正に設置し、最高使用圧力・最高使用温度など、製品の使用範囲を超えた使用はしないで下さい。
→機器の破損、シール部の崩壊により蒸気または高圧高温水（蒸気凝縮水）が漏れ出す恐れがあります。火傷を負うような事故となる恐れがあります。
- 製品出口側の配管を大気に解放する場合、解放部を直接人が触られないよう、保護して下さい。
→蒸気設備は高圧高温水などにより、火傷を負うような事故となる恐れがあります。
- 製品の取外し作業時は、一次側配管の圧力を大気圧とし、製品本体の温度が低下していることを確認した後に実施して下さい。
→背圧により製品が飛ばされる。高温状態の製品に直接接触する。などにより、怪我や火傷を負うような事故となる恐れがあります。
- 製品の修理／改造などを行う場合は、その内容を当社と協議して下さい。
→製品の破損などにより、能力低下や事項が生じる恐れがあります。
- 満水、密閉の状態での凍結させないよう、ご使用下さい。
※寒冷地でのご使用については、凍結防止対策などを、当社担当と協議下さい。

2. 使用可能範囲（飽和蒸気） ※加熱蒸気の場合はお問合せ下さい

本製品は低圧型(0.8Mpa以下)・中高圧型(1.5Mpa以下)・高圧型(1.5Mpa～3.5Mpa)の3種の使用圧力範囲があり、それぞれに柱状孔サイズが3種ございます。

本『取扱説明書』は低圧型用に作成されたものですが、各性能表には、1.0Mpaまでの記載がされています。0.8Mpaを超える数値につきましては、参考値としてご利用ください。

型 式	PHV-R-S (低圧型)	PHV-R-M (低圧型)	PHV-R-L (低圧型)
1次圧力範囲	0.8Mpa		
2次圧力範囲	0.0～0.795Mpa		
最大凝縮水流量	47.15kg/h	59.67kg/h	47.15kg/h
蒸気流出流量	0.019～0.286kg/h	0.024～0.362kg/h	0.030～0.447kg/h